

第 33 回 日本臨床化学会関東支部例会

学術講演プログラム

日 時 : 平成 28 年 11 月 12 日 (土)、13 時 25 分 ~ 17 時
会 場 : 埼玉県立大学 南棟 3 階大講義室
テーマ : 最近の話題
例会長 : 松下 誠 (埼玉県立大学)
参加費 : 1,000 円 学生・大学院生は無料
主 催 : 日本臨床化学会関東支部

13:00~ 受付開始

13:25~13:30 開会の挨拶

13:30~14:00 講演 1 司会 : 村本 良三 (埼玉医科大学保健医療学部)

血清蛋白質検査の矛盾と課題

~ 総蛋白、アルブミン、蛋白分画を中心に ~

松下 誠 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)

14:00~14:40 講演 2 司会 : 神山 清志 (浦和医師会メディカルセンター)

イオン交換クロマトグラフィによるリポ蛋白分離法の有用性と将来展望

廣渡 祐史 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)

14:40~15:20 講演 3 司会 : 山田 俊幸 (自治医科大学臨床検査医学)

抗血小板抗体検査の意義 ~最近の知見~

松橋 美佳 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)

15:20~15:40 休憩

15:40~16:10 講演 4 司会 : 山口 純也 (埼玉県済生会川口総合病院)

トリグリセライド測定における遊離グリセロール消去の意義

渡部 俊之 (東邦大学医療センター佐倉病院)

16:10~16:55 講演 5 司会 : 松下 誠 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)

わが国の ALP 活性測定法を考える

山舘 周恒 (人間総合科学大学)

16:55~17:00 閉会の挨拶